⑷　有効期間　特定ＪＶの有効期間は、次の各号に掲げる者の区分に応じ当該各号に定める期間とする。
①　契約の相手方となった者　競争参加資格が有ると決定したときから請負代金の完成払をしたときまで
②　契約の相手方とならなかった者　競争参加資格が有ると決定したときから契約の相手方が確定したときまで

4　資格審査申請書類　以下に掲げる書類を２⑴の受付期間中に提出すること。持参、郵送（書留郵便に限る。提出期間内必着。）又は託送（書留郵便と同等のものに限る。提出期限内必着。）すること。
⑴　一般競争参加資格審査申請書
⑵　経営事項審査結果通知書の写し
※平成31・32年度の競争参加資格審査の申請において用いたものに限る。
⑶　特定建設工事共同企業体協定書の写し
⑷　委任状

5　資格審査結果の通知
⑴　本工事の特定ＪＶ希望者は、上記４に掲げる資格審査のほか、本工事の入札公告３⑶に掲げる資格審査に係る申請書類を提出し、東京航空局長の確認を受けなければならない。
⑵　資格審査の結果は、本工事の入札公告にかかる確認通知期限までに特定ＪＶ資格認定通知書により通知する。
⑶　本工事の入札公告２⑶の認定を受けていない者を構成員に含む特定ＪＶもこの申請をすることができるが、開札日までに本工事の入札公告２⑶を満たしていることを条件として特定ＪＶでの資格認定を通知する。
ただし、当該通知を受けた者が特定ＪＶとして入札に参加するためには、開札日までに本工事の入札公告２⑶の条件を満たし、上記４の資格の認定を受けていなければならない。

6　その他
⑴　特定ＪＶの名称は、「成田国際空港庁舎（管理棟）新築工事○○・▼▼（会社名等）特定建設工事共同企業体」とすること。
⑵　特定ＪＶの資格審査申請をする者は、併せて入札公告にかかる競争参加資格の確認を受ける必要があることから、当該入札公告の指示に従い、別途申請手続きを行うこと。
⑶　申請手続について不明な点があれば、次に照会すること。
２⑵に同じ

招　　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和２年11月20日

気象庁総務部長　藤原威一郎

◎調達機関番号　020　◎所在地番号　13

○第１号

1　調達内容
⑴　品目分類番号　14
⑵　導入計画物品及び数量
スーパーコンピュータシステム　一式
⑶　調達方式　借入等
⑷　導入目的　本システムは、気象、水象、地象等に関するデータ解析及びこれらの予測等を行い、これらを総合的に処理するシステムの一部として導入するものである。
⑸　導入予定時期　令和５年度第４・四半期以降
⑹　調達に必要とされる基本的な要求要件
①　スーパーコンピュータは気象庁施設に設置又はクラウドサービスを利用、もしくはその両者を併用した複数のクラスタで構成される。実効演算性能は、現行性能（清瀬設置スパコンと気象研究所設置スパコンを合わせた性能）を１とした時に、運用当初は少なくとも５倍を有することとし、その後順次強化することで運用終了１年前には少なくとも10倍を有すること。実効演算性能は気象庁が指定するプログラムを用いて行う性能評価試験（ベンチマーク・テスト）により評価されるものとする。なお、現行のスーパーコンピュータは、清瀬設置スパコンがCray XC50の5632ノード及び気象研究所設置スパコンが富士通ＰＲＩＭＥＲＧＹ　ＣＸ2550Ｍ５の880ノードである。
②　スーパーコンピュータの主記憶容量は、気象庁の業務用プログラムが高速、柔軟に実施できるよう十分な量を有すること。
③　スーパーコンピュータの二次記憶装置として、各系内でファイル共有ができ、高速な入出力が可能なストレージを有すること。
④　衛星データ処理及び各種業務処理を実行するサーバを有すること。
⑤　各設置場所内に大容量のストレージを有すること。
⑥　OpenMP及び自動最適化（ＳＭＰ並列化等）に対応したFortranコンパイラ及びＣ、Ｃ＋＋コンパイラ、数値計算ライブラリ、ＭＰＩライブラリ、開発環境として利便性の高いデバッグツール及びチューニングツールを有すること。
⑦　ソフトウェア及びハードウェアの両面にわたり高い信頼性・可用性を有し、保守及び整備に関して俊敏な措置を講ずること。
⑧　気象庁が作成した既存プログラム及び保有データの移行が容易で、効率的に実施できること。
⑨　本システムの運用・管理は可能な限り省力化及び自動化を図り、また、本システム全体で一元的な利用者管理、資源管理及び課金管理ができること。
⑩　本システムを構成する機器は省エネルギー性に優れていること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑹の要求要件等に関する資料（カタログを含む）及びコメントの提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　令和３年１月14日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提出先　気象庁情報基盤部情報通信基盤課プログラム班　山本佳緒里
・令和２年11月27日まで　〒100―8122 東京都千代田区大手町１－３－４　電話03―3212―8341　内線3288
・令和２年11月30日から　〒105―8431 東京都港区虎ノ門３－６－９　電話03―6758―3900　内線3194

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　令和２年11月20日から令和３年１月14日まで。
⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。
⑴　開催日時　令和２年12月４日14時00分
⑵　開催場所　気象庁講堂（気象庁虎ノ門新庁舎３階）

5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 14
⑵　Nature and quantity of the products to be procured : Supercomputer System 1 Set
⑶　Type of the procurement : Rent
⑷　Basic requirements of the procurement :
①　The System shall consist of supercomputer clusters in Japan Meteorological Agency (JMA) facilities and／or cloud service. The total effective performance of supercomputers in the System shall be 5 at least times faster than that of the current supercomputers (CRAY XC50 with 5632 logical nodes in the JMA) and FUJITSU PRIMERGY CX2550M5 with 880 logical nodes in the Meteorological Research Institute (MRI)) at the beginning of operation, and at least 10 times one year before the end of operation. The effective performance of the supercomputers shall be evaluated by JMA's benchmark tests.
②　Total capacity of main memories of the supercomputers shall be sufficient enough to execute JMA's operational programs speedily and flexibly.
③　Each set of supercomputer shall be equipped with shared secondary storages with fast I／O performance.
④　The System shall be equipped with servers for the satellite data processing and for the other routine.
⑤　The System shall be equipped with the mass storages in the each location.